

学校教育目標 「学ぶ子ども 仲よくする子ども 健康な子ども はたらく子ども」



校訓 礼儀 質朴 自治

新堀小だより

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>

1月号

令和7年1月8日発行

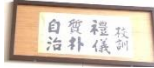
校長 若林 寿



謹賀
新年

明けましておめでとうございます

～創立の精神を大切に～



新しい年を迎えるに当たり、昨年を振り返ると、本当にたくさんの保護者、地域・社会の皆様が学校へのサポートをしていただきました。子供たちの成長や活動の様子から、学校と保護者、地域・社会が繋がり、一つ(One チーム)になって取り組むと教育の効果は飛躍的に拡大するということを実感した年でもありました。新堀小の子供たちの成長を支えていただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。令和7年(2025年)は、『巳年』です。巳はヘビを意味し、脱皮を繰り返して成長する様子から「再生と変化」を示すそうです。今年も新たな挑戦や経験、出会いをとおして、学校として新たな成長をする年としたいと思います。また、巳のようにしなやかに、柔軟に対応することを大切に、保護者、地域・社会の皆様と一緒に、更に素敵な学校にしていきたいと考えます。スマイル&チャレンジ、本年もよろしくお願いいたします。

さて、年末年始への帰省の際に、地元の懐かしいお店をいくつか訪れてみました。菓子屋さん、うなぎ屋さん、蕎麦屋さん、稲荷寿司屋さん等、どの店もとても活気があり、働いている人もお客さんも幸せそうで素敵でした。久しぶりに訪問して、改めて気付いたのですが、それらのお店は、全て百年以上続く老舗になっていたのです。調べると日本は、このような百年、二百年以上続く老舗が、欧米諸国を抜いて世界で最も多くある国だそうです。『不易と流行』という松尾芭蕉の言葉があります。「不易」とは、時代が変わっても不変なもの、変えてはならないものがあるということであり、「流行」とは、時代とともに変わっていくもの、変えて行かなくてはならないもののことです。芭蕉は、「不易を知らざれば基立(たち)がたく、流行を辨(わ)きま)えざれば風あらたならず...不易を知らなければ句の基礎が確立せず、時代の流れを知らなければ澆刺(はつらつ)とした句は作れない」とも言っています。これ

は俳句の世界に限られたことではありません。世の中は不易と流行のバランスの上に成り立っています。変えるものと変えてはならないものをどう見極めるか、そこに盛衰がかかっているのです。学校では、創立の精神が「不易」にあたり、その精神を時代の変化や子どもたちの変化を見据えて行っていく学校改革を「流行」だと考えます。

【不易】

校訓 『禮儀 質朴 自治』 ※西堀小から継承、開校146年
禮儀・・・礼儀作法

・相手のことを思いやり、気持ちよく行動すること

質朴・・・質朴剛健(質実剛健)

・素直(誠実)で、心身ともに逞しいこと

自治・・・自主自律

・よくするために主体的に考えて、実行すること

学校教育目標 ※開校51年

○学ぶ子ども 知(自主・自立・知力)

○仲よくする子ども 徳(共感・共生・社会性)

○健康な子ども 体(耐性・体力・気力)

○はたらく子ども 実践(感性・責任感・実行力)

【流行】

合い言葉 (児童、教職員)

『スマイル&チャレンジ』 = Well-being

やってみよう なんとかなる ありがとう ありのまま

ミッション (教職員)

『グローバル人材の育成、ICT 化への対応』

CS 基本理念 (教職員、保護者・地域社会)

『学校と社会をつなぎ、子どもたちの未来を拓く』

CS コンセプト (教職員、保護者・地域社会)

『新堀小 One チーム & Our チーム』

多様性・協働 主体者意識・挑戦

『子どもも大人も自己実現できる場所』

今後も創立の精神を大切に、学校改革を進めてまいります。そこに集う人が笑顔で幸せになる老舗のような澆刺とした学校を目指します。